

Festina lente

令和6年度 八日市高等学校
第1学年 学年通信 No.8
(2024. 10. 24)
発行責任者：元持重子

2学期も後半戦です。気持ちと行動の切り替えを！

10月中旬までは、まだ暖かい日が多かったように感じましたが、最近は季節がぐっと前に進んできましたね。これから冬へと一気に加速していきます。体調を崩している人はいませんか。学校では、中間考査が終わり、再び仕切り直す、そんな時期となります。中間考査の結果が十分でなかった人は、日頃の学習方法や取り組みの姿勢を見直し、次回の期末考査(12/2～)に向けて準備をしてください。ぼんやりしていると、あっという間に11月、12月と時間が過ぎ去っていきます。2024年が終わってしまいますよ。1日1日を大切にしましょう。

① 少しずつやれることから始めていく

高校3年の先輩の多くが後悔すること、それが『もっと早くからはじめておけばよかった…』です。1年の君たちなら、数学で言えば4プロセスに計画的に取り組み、テスト1週間前には仕上げておいて、テスト前さらに2周目3周目と取り組み、理解をより確実なものにしていくこと。英語で言えば、単語の小テスト、毎回10点満点とること。とにかく、今、マスターしておくべき基本事項をしっかりとやりきることです。家庭科や保健等の教科も絶対に手を抜くことのないように。例えば、家庭科や保健で習ったことが英作文として出題される等、2年後には、みんなの知識や考えをあらゆる角度から試されることを忘れずに。

② 教室での学習環境をつくる

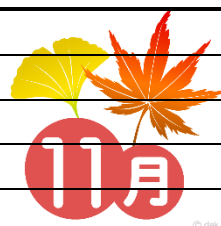
あなたのクラスは授業に集中できていますか？その一瞬に集中できない者は、どれだけ塾に行っても、やったつもりになっているだけで、結局肝心なところが抜けてしまい、成果につながらないのが現実です。今一度、自分の勉強スタイル、周囲の状況を振り返ってみてください。休み時間は交流と憩いの場ですが、なかには前日の部活動が忙しく次の授業の予習や宿題、小テスト対策に追われている人もいます。その人たちの邪魔にならないよう最低限の気づかいを忘れずに。朝早めに登校し、SHRまでの時間を勉強にあてている人もいますね。朝の一時を集中することで、いい1日のスタートがきれるはず。そんながんばる教室の空気を大切にしよう。

③ 進学補習をうまく利用する

11月から、大学受験対応の実力養成を目指す**進学補習**が始まります。中旬には、期末考査に向けての補充講座も始まります。指示を受けた人は、放課後に残って最優先で受講をしてもらいます(対象者は後日連絡があります)。中間考査の結果をしっかりと反省し、**日々の授業を大切に**するという姿勢を崩さず、期末考査に向けての十分な準備を早めに行ってください。教科書+αの学習も少しずつ進めていきましょう。

【11月：行事予定】

1	金	秋季高校総体・高文祭	17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	⑦総合
4	月		20	水	
5	火	⑦総合 月曜時間割 進学補習開始(～3/23)	21	木	防災訓練
6	水		22	金	SC
7	木	⑥⑦学年企画LHR	23	土	《勤労感謝の日》
8	金	SC	24	日	
9	土	第2回体験入学	25	月	考査時間割発表
10	日	総合学力テスト(進研記述)	26	火	⑦総合なし
11	月		27	水	
12	火	⑦総合	28	木	
13	水		29	金	SC
14	木	⑦11/7(木)⑥の授業	30	土	
15	金	SC			
16	土	PTA 卒業生と語る会			



◎第2回進研模試総合学力テスト◎ 11/10(日)

(HR教室集合)	8:30
国語	8:40 ~ 10:00 (80分)
数学	10:10 ~ 11:50 (100分)
昼食	11:50 ~ 12:30
英語	12:30 ~ 13:50 (80分)

マナビジョン を活用して、

キミの力を引き出そう!!



初めてのベネッセ総合学力テスト・7月の結果にショックを受けた人も、夏休みを挟んで2学期の忙しい日々を追われ始めると、「テスト前の準備は定期考査で手一杯、模試はぶっつけ本番からの受けっ放し」となりがちです。そんな悪循環を断ち切り、早めに軌道修正するためにも、2回目となるベネッセ総合学力テスト・11月をていねいに受験しよう。前回、事後の復習問題の取組になかなか前向きになれなかった人もいました。今回は主体的に取り組んでください。

増加傾向 大学の不本意入学者が2万人

文理選択も終わり、2度目の模擬試験を目前に控えた今、どのように過ごしているでしょうか。2学期は行事も少なく、じっくりと今後の自分の進路について考えることができる時期です。どのような進路を選ぶのか、そのために何をすべきか、より一層具現化していかなければならない時期に差しかかっているのです。志望校の決定も視野に入れながら、今後について考えてみましょう。

不本意入学という言葉を知っているでしょうか。大学に入学したものの「こんなはずじゃなかった」と、他大学を再受験する学生がおよそ2万人いるそうです。しかし一方で、現在、大学の46.4%は定員が割れているという現実もあり、「さほど勉強しなくても入れてしまう」大学が増えています。「浪人はしたくない」ということを最優先にすれば、勉強などしなくとも、どうにかなるような時代になっているのです。しかしその結果、

「勉強したくない」→「入れる大学でいいや」→「入学してみたけど、ちょっと…」→「大学を再受験したい」という道をたどる人が一定数いるということになったのです。結局は、回り道をした形になり、しかも大学に通いながらの仮面浪人では十分な受験対策ができるはずもなく、満足いかない大学選択に終わることも少なくありません。

みなさんには、このような不本意入学者の道をたどってほしくありません。そのためにも納得のいく進路選択と、それに備える学習をしてほしいと思うのです。妥協は結局遠回りになります。自分の目指す大学を固めて、日々の学習を積んでいきましょう。